土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1-西ノ谷川支川-補助基準点2	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 09.8393″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 8月17日～ 令和2年 8月19日	東経	132° 33′ 35.5845″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 186.85m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	0° 鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーTF120V-E / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	185.85	1.00		粘土混じり砂		暗黄褐			GL-0.30m迄、暗褐色の耕土 細～中砂の砂を主体とする 径3cm以下の礫を少量混入する	
2	184.50	2.35		玉石		淡灰			花崗岩質の転石 転石はGL-1.00～1.85m、GL-2.00～2.35m間で採取 転石間は中～粗砂を主体とする砂	8/19 1.75
3	183.05	3.80		礫混じり砂		灰褐	rd3		中～粗砂の砂を主体とする 径2cm以下の礫を20～30%混入する 部分的に礫の混入量が多くなる	
4				花崗岩		淡青灰			CH級岩盤 全般的にL=25cm以下の柱状コアで採取する コア肌は比較的になめらか 亀裂面は淡褐色に変色している 所々の亀裂間で礫状コアとなる	
7	179.85	7.00								

標準貫入試験

深度 (m)	N値	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
2.65	19	6	5	8	19/300		
2.95							
3.15	36	21	9	6	36/300		
3.45							

深度―N値図

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				8/17
				8/18
				8/19